



ひなた新聞 35号



・国道134号線 腰越橋の詳細設計

国道134号線を藤沢方面から腰越漁港に向かって行く際、腰越橋までは歩道がありますが、腰越橋はとて狭くなっており歩くのが危険な状態です。今後の整備について確認したところ、藤沢土木事務所が平成30年度に腰越橋に歩行者のための橋と腰越漁港入口までの歩道の詳細設計を行う予定であるとのこと。整備時期については2020年以降になってしまいますが、歩行者の安全確保に努めるよう求めました。



・小・中学校全校の普通教室へのエアコン設置に向けて

現在鎌倉市立小・中学校25校中19校のエアコン設置が完了しております。残る6校(腰越小学校・七里ガ浜小学校・富士塚小学校・植木小学校・関谷小学校・今泉小学校)への設置工事を今年の夏休みに行い、2学期から使用可能となります。また、6月から夏休みが始まる7月までの期間は気化式冷風機のレンタルし熱中症対策をすることになっております。



・腰越漁港 浚渫工事実施とLED化対応へ

水深不足により漁業活動に支障をきたしている現状の改善を求めてきましたが、現在土砂などを取り去る浚渫工事が実施されております。この工事により荷降ろし等の漁業活動の円滑化が見込まれるほか、停泊場所が増加することになります。また、漁港内等を照らす電気のLED化の対応の検討をお願いし、平成31年度の予算に計上をしていただきました。



・防災情報の周知について 新たな取り組み

災害時において迅速かつ確実な情報提供が必要です。より簡単に自ら情報を取得できるような取り組みをお願いしてまいりましたが、平成30年10月から、市ホームページのトップに新たに「**防災気象情報**」のバナーを設け、防災気象情報がより入手しやすくなるよう対応を図っていただきました。



住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<https://hinata-shingo.amebaownd.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート

1983年6月9日 生まれ (35歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。腰越在住。

〈現在〉観光厚生常任委員会委員・議会広報委員会委員



●2020年とその先を見据えた対策について

- ・オリンピックをより身近に感じてもらえるように
- ・民泊営業は住民に対して丁寧な周知を
- ・外国人への医療機関受診のサポート充実

●深沢地域のまちづくりについて

- ・行政計画としての位置づけ
- ・これまでの経過／事業費内訳

- ・国道134号線 腰越橋の詳細設計
- ・小・中学校全校の普通教室へのエアコン設置に向けて
- ・腰越漁港 浚渫工事実施とLED化対応へ
- ・防災情報の周知について 新たな取り組み

グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。



☆スケジュール☆

第12回：3月16日

第13回：4月20日

第14回：5月18日

第15回：6月15日

：

●2020年とその先を見据えた対策について

・オリンピックをより身近に感じてもらうように

市民とセーリングチームとの交流機会を数多く
 つくことや、セーリング競技観戦施設の設置、
 パブリックビューイングなどについて神奈川県等の関係機関に要請す
 るとともに、市としても、どのようなことができるか引き続き協議検
 討していただくことを求めました。



・民泊営業は住民に対して丁寧な周知を

「民泊の届出準備ができたので営業を開始します」
 といきなり話をされても周辺住民は不安を感じた
 りします。しかし、神奈川県の指導指針では『事業を営もうとする者
 は届出を行おうとする日までに周辺住民に対して書面等により周知す
 ること』という内容の規定になっており、届出番号は一週間程度で発
 行されます。つまり、届出直前に周知した場合、一週間程度で民泊営
 業が行われることになります。そのため、周辺住民へ丁寧に周知する
 ように求めたところ、できるだけ早期に周知を図るよう保健所におい
 て指導するよう要請していくこと、市民生活に影響が出ないよう県に
 対して制限条例の改正について求めていくとご答弁をいただきました。



・外国人への医療機関受診のサポート充実

外国人の方が安心して医療機関を受診するためには
 言語の障壁など困難が伴いますが、速やかに受診でき
 ることが重要です。鎌倉市では英語対応可能施設が、
 129箇所・中国語6箇所・韓国語4箇所・その他言語10箇所が受け入
 れ体制を整えていただいております、多言語対応の医療機関を調べるには
「かながわ医療情報検索サービス」サイトで検索できます。しかし、
このサイト自体が多言語対応できてなく、日本語での検索が必要であ
 ることから、外国人にとって利用しにくいものとなっています。その
 ため、管理している神奈川県に対してサイトの多言語対応について要
 請するよう求めました。



●深沢地域のまちづくりについて

・行政計画としての位置づけ

深沢地域国鉄跡地周辺では鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の
 新しい拠点の創造をめざし、事業化に向けて取り組んでいます。

・これまでの経過

平成 22 年 9 月	土地利用計画(案)を策定。
平成 27 年 8 月	市民との意見交換を重ね、土地利用計画(案)を見直す。
平成 28 年 10 月	修正土地利用計画(案) (事業区域 約 31.1ha) を策定。
平成 30 年 11 月	鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会を設置
平成 30 年 12 月	神奈川県、藤沢市、鎌倉市の3県市で、両地区の一体施行と 新駅設置の実現に向け合意書を締結。 3県市で「村岡新駅(仮称)設置協議会」を設立。
平成 31 年 1 月	「村岡新駅(仮称)設置協議会」からJR東日本に「東海道本 線の駅設置に関する要望書」を提出。

今後は、2019年度(平成31年度)に新駅駅舎等の概略設計着手を目指
 し、2020年度に新駅設置の見極めの予定となっております。

・事業費内訳

▼深沢地区単独(単独施行)で行った場合：鎌倉市の負担額 約 48 億円



▼村岡地区と一体(一体施行)で行った場合：鎌倉市の負担額 約 36 億円

